

学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市大塚) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保 健康の管理・情緒の安定 基本的生活習慣の確立 社会生活技術の獲得	あいさつ、手洗い、うがい トイレの指導、出欠の確認 学童生活の中での健康管理指導 持ち物の管理指導 おやつ提供 整理整頓 避難訓練・防犯訓練	・「おはようございます」「ただいま」などのあいさつは、徹底して指導をしているので、ほとんどの学童ができるようになる。 手洗い、マスク着用は新型コロナウイルス感染症対策として職員の声かけ・見守りにより習慣づいている。 ・トイレのスリッパの脱ぎ方の指導は今後も繰り返し、続けていく。 ・居残りなど下校が遅い時や、学校の町別集会時には学校や家庭と連絡を取りながら出欠確認できた。 ・連絡帳や送迎時を通じて各家庭の保護者の方と連絡を取り合い、児童たちの様子を伝え合うことができた。 ・気温や体調に合わせて自分自身で衣服を着替えたり、調整したりするように意識付けた。 ・体調に変化があった時には、職員にすぐに伝えるようにすることで自分の健康管理を促した。 ・決まった子どもが頻りに忘れ物をする。また、学童生活に慣れてきた頃に連絡帳やタオル等の忘れ物が増え、繰り返し指導を行った。今後も、子ども・保護者へ必要物の確認をし、管理を習慣づけられるように指導が必要。 ・布巾等の除菌と消毒を徹底し感染症の拡大を防いだ。バラエティー豊かなおやつを提供できた。 ・アレルギーを持った児童がいたので、保護者との連携を取り自宅よりおやつを持ってきてもらった。 ・使った物の片付けは最後までしっかり出来るように繰り返し指導した。引き続き指導が必要。 ・大塚消防出張所、山科警察署の方と連携を取りよりよい訓練を実施することができた。 地震、火災、風水害などの災害時、不審者への対応、非常食についての学習など様々な訓練を実施することができた。
子ども育成機能	生活体験の拡大 社会性の養成 自立の促進と自主性の尊重	お誕生会 (2) 手づくり工作 (2) みんなあそび (2) あそびの教室 (2) 交通安全教室 (2) 絵画制作 (2) ブックカバーをつくろう 大塚こども食堂 (昼食提供) 大塚モーニング食堂 (朝食提供) 夏のみんなあそび スタッフ会議 ハロウィンパレード2021 高学年スタッフ会議 クリスマスパーティー2021 高学年スタッフ会議 大掃除 1年間の振り返りDVD鑑賞	・学年が上がるとともに前に出てお祝いされることを恥ずかしがる姿もあり、好きなケーキを仲のいい友達と一緒に食べて過ごすことで仲間にお祝いをしてもらう特別な日と位置づけた。 ・子どもたちの集中力・創造力や器用さを身に付けることができた。子どもたちの意欲や個性がひきだされた。 ・普段一緒に遊ぶメンバーと異なる異年齢集団の中であそぶことにより、連帯感や仲間意識が芽生えた。 ・あそびのルールの再確認や様々なゲーム、工作、あそびを体験させることができた。 ・児童が理解しやすいように交通標識をパネルにし、絵合わせ、しんけいすいじやくゲームなど、あそび感覚要素を取り入れて交通安全を学んだ。 ・岩本館長は以前、山科警察署協議会役員であったため連携関係にあるので、「過去3年間における大塚児童館周辺の人身交通事故マップ」を製作していただき、授与されるなど何かと考慮していただいた。 ・子どもたちが昨年から今年にかけての日常で得た、楽しく美しい思いでを自由に絵で表現した。子どもたちの創造力育成に繋がった。 ・子どもたちの才能が開花。「京都市長賞」第1位を受賞した。今後も秘めた才能を発揮できる場にチャレンジしたい。 ・昼食を提供することで、お弁当を毎日作らないといけない保護者の負担軽減となった。 ・子どもたちにとってもフードロスを学べたり、仲間と楽しく食事ができるよい機会となった。 ・新型コロナ感染症感染拡大の影響により、やむなく中止することがあった。 ・朝食を摂らず来館する児童からの声を受け、朝食を提供し、三食きちんと摂る環境づくりの取り組みを行った。 参加する子どもたちは朝食をお友だちと食べるのがとても楽しみな様子であった。 ・新型コロナ感染症感染拡大の影響により、やむなく中止することがあった。 ・館庭にて、水鉄砲遊びや色水あそび、寒天で感触遊びなどをして季節に合った遊びを楽しむことができた。 事故のないように、安全に十分配慮して遊びを展開することができた。 ・従来のパーティー形式をやめて、仮装しながら小学校区内をパレードした。手製プレゼントの配布やクイズ大会なども途中で盛り込み、ジュニアリーダーの育成にも努めた。 ・司会進行やゲームコーナーでのスタッフ参加などを通して、参加型の楽しい企画を満喫していた。 ・全学年が協力して各部屋に分かれて大掃除をすることができた。 ・1年間の振り返りスライドショームービーを観ることで、自分たちの成長を感じることができた。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換 子育ての仲間づくり 子育てを支えるネットワーク形成	学童だより (わんぱく通信) 保護者連絡会 事前登録説明会 入会説明会 連絡帳の活用・電話連絡・その他のおたより 小学校との連携 地域との連携 関係機関との連携 ・京都市児童相談所 ・京都市山科区役所 保健福祉センター ・子どもはぐみ室子育て相談係 ・ヴェインテ ・にこの森保育園 ・ロマンの森「託児所」 ・若草保育園 (洛和会) ・てくてく、小山児童園 (洛和会) ・山科醍醐地区高等学校 (2) ・山科醍醐地区中学校 (9) ・京都市立東支援総合学校 ・京都市立大塚小学校 など	・毎月の行事予定や子どもたちの様子を伝えることができた。 ・紙面でおたよりを渡すだけではなく、ホームページにも毎回の行事ごとに「ブログ」として掲載し、広報活動に努めた。 ・夏休み前と冬休み前の年間2回開催することができた。それぞれに児童たちの様子の写真をスライドショーで見ていただくことで安心・安全な環境下で信頼される児童館として、保護者の方々との連携を強化した。 ・12月11日と1月8日の2回に分けて実施した。特に利用料金・時間等の大幅な変更があるため、京都市からの資料及びスライドを使用しながら説明した。 ・2部制にて開催した。「入会のしおり」資料に沿いながら丁寧に説明し、PCも活用しつつ情報提供に努めた。 ・子どもたちの日々の様子で気になることや事故や怪我のあった際には速やかにお迎えに来られた際に保護者に伝えたり、状況によっては電話連絡をしたり、軽度の怪我であれば連絡帳に記入し、保護者との連携を図ることができた。次年度からは、一斉メールの配信を実施する。 ・自由参観や運動会への参観などを通して、子どもたちの小学校での様子を見ることができた。 ・配慮や気になる児童については学校の校長、担任等に相談し話し合う時間が持てた。 ・民生協力委員会に定期的に参加することでより連携を図ることができた。 ・大塚自治連合会の会長とも頻りに連携をとり合い、地域の状況把握や広報活動に役立てた。 ・各関係10機関との連携を強化し、館長を中心として、協議や相談しやすい地域連携を強化した。

(令和3) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市大塚) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
(1) 避難訓練	6	91	63	30	18	5							6	213	災害時や不審者への対応について訓練を行った。 大塚消防出張所などの団体と連携して消火訓練を行った。 4月に宝探しゲームの遊びを、展開した。 上級生から歓迎を受け、手づくりプレゼントも進呈。	
(2) 1年生を迎える会	1	27	7	2	4	3								44	毎月1回実施。みんなで、毎月の誕生者のお祝いをし成長を共に喜び合う。誕生カードを用意し、ケーキを食べて楽しく過ごした。	
(2) 誕生会	12	300	172	89	47	12								620	毎月1回実施。みんなで、毎月の誕生者のお祝いをし成長を共に喜び合う。誕生カードを用意し、ケーキを食べて楽しく過ごした。	
(2) 交通安全	1	29	20	7	4	2							2	64	山科警察署と連携し、交通安全教室を実施した。	
(2) 夏のみんなあそび	1	18	9	7	3	2								39	館庭で色水あそびや水鉄砲あそび、寒天で感触遊びなどをして、楽しんだ。	
(2) わくわく夏まつり スタッフ会議	1			4	4									8	高学年スタッフとして季節に応じた夏祭りを、企画の段階から参画し、ジュニアリーダーの育成に繋げることを目標にした。	
(2) ブックカバーをつくろう	4	6	10	5	3									24	本の虫プロジェクト「第3回ブックカバーコンクール」に応募するために、作品づくりに取組んだ。	
(2) 大塚子ども食堂	6	37	23	23	6	8	18						6	121	月1回昼食の提供をする。食育やフードロスについて学ぶ機会にもなった。	
(2) モーニング食堂	5	7	1	8		1								17	月1回朝食（パンやスープなど）の提供をする。	
(2) ハロウィンパレード2021 スタッフ会議	1			5	2	2								9	高学年スタッフとして10月、季節に応じたハロウィンパレードの開催に向けた企画を、計画段階から参画させてジュニアリーダーの育成に繋げる。	
(2) クリスマスパティー2021 スタッフ会議	1			17	4	2								23	高学年スタッフとして12月、季節に応じたクリスマスパーティーの開催に向けた企画を、計画段階から参画させてジュニアリーダーの育成に繋げる。	
(2) 大掃除	1			17	4	2								23	役割分担し、高学年がリーダーとなって児童館の清掃を行う。	
(2) 絵画制作	4	24	12	8	12	4								60	京都市児童館学童連盟より「子どもたちの絵画展開催」の応募を受け、出展に向け取り組む。	
(2) けん玉検定	3	2	8	8	7	2								27	毎月15日にけん玉検定表にそって、けん玉検定を行う。	
(2) 手づくり工作	3	24	19	8	6	4								61	毎月1回実施。季節にちなんだ工作など、テーマにそって制作する。	
(2) みんなあそび	4	29	16	14	7	1	1			2				70	毎月あそびを考え、実施。参加者で一つのテーマにそって遊ぶ。	
(2) あそびの教室	8	105	50	22	21	13								211	運動遊びやゲーム、工作など様々なあそびを楽しむ。また、ルールの再確認を行う。	
(3) 保護者連絡会	2		2			1								19	新1年生の保護者を対象に、夏季休暇中及び冬期休暇中の生活の流れ、約束ごと等を伝える場とする。	
(3) 学童クラブ 新1年生登録事前準備説明会	1													25	新1年生の保護者を対象に登録事前準備説明を行う。	
(3) 学童クラブ 登録事前準備説明会	1													15	令和4年度学童クラブ利用保護者、小山児童園利用保護者に向けて、令和4年度学童クラブ登録事前説明を行う。	
(3) 入会説明会	1	1												47	新1年生の保護者を対象に令和4年度の入会説明を2部制で行い、周知を図る。動画等を活用しながら、4年度運営方針についても説明を行う。	
(3) 学童クラブだより発行	12															おたよりで次月の予定や子どもたちの様子を伝えた。
(2) 1年間の振り返りDVD鑑賞	1	21	14	5	2			1						43	3学期春休み前に、1年間を振り返るスライドショームービーを観る。	
(2) お楽しみ会 (謎解きデラックス)	1	20	12	5	1			1						39	「桃の刃」と命名して、動画作成から取り組んだ。鬼からの挑戦状に対して、グループに別れた学童が次々に謎に挑戦し、得点争いをして大いに盛り上がった。	
(2) 学童クラブ児童 利用者満足度調査アンケート	5	68	46	20	9	2								145	児童館・学童クラブ事業の開催ごとに、毎回終了後、感想など含めた利用者満足度調査のアンケートを実施する。	

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること